播但連絡道路のこれから

新たな橋梁耐震対策

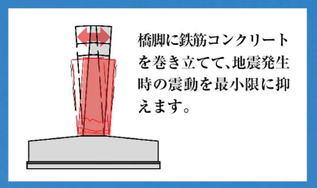
❶必要性

平成28年の熊本地震を教訓に、発災後に救護・復旧復興物資を輸送する車両が速やかにかつ円滑に通行できるよう、落橋・倒壊対策に加えて路面に大きな段差が生じない対策を行います。

❷工事の方法

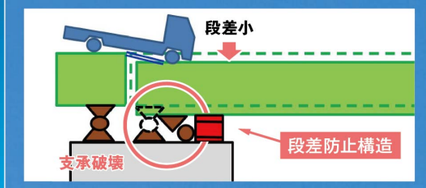
橋脚の補強

橋脚をねばり強い構造とするために橋脚全面に鉄筋コンクリートを巻き立てます。



段差防止対策

高さのある支承が破壊し、上部工が落下して路面の段差が大きくなるのを防ぎます。



※一社）日本建設橋梁協会 “熊本地震橋梁被害調査報告書 平成28年10月” より引用

❸工事の優先順位と期間

播但道は緊急輸送道路に指定されており、大規模修繕と併せて効率的に耐震対策を実施します。

対策が必要な橋梁、全210橋のうち81橋を耐震化

⇒令和8年度（2車線分※）完了を目途に工事を進めます。

残る箇所についても、その後速やかに完了させていきます。

※福崎より南の４車線区間のうち片側２車線分を優先的に工事します。

※R2.4時点

工事期間中の通行規制への配慮

道路情報板や公社ホームページなどで事前にご利用のみなさまに周知するとともに、工事実施にあたっては、通行止めや通行規制を必要最小限にするなど交通への影響をできる限り小さくするよう努めます。工事中は、ご利用のみなさまに大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

公社ホームページ　https://www.h-dorokosya.or.jp/

【連絡先】兵庫県道路公社　本社：TEL（078）232-9635　管理事務所：TEL（0790）22-4900

播但道
BANTAN EXP

播但道 もうすぐ50歳

次世代の安全・安心のため大規模修繕等を実施します

播但連絡道路は
播磨と但馬を南北に結ぶ
兵庫県のいわば背骨。
播但と但馬の安全・安心で豊かなくらしを支え
子供達の活躍する次世代に残せるように
大規模修繕等を実施します。
工事中は、ご利用のみなさまに
大変ご迷惑をおかけしますが
ご理解とご協力を
お願いいたします。

播但連絡道路の今

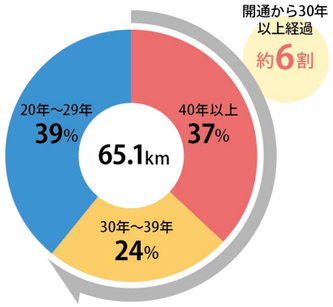
大規模修繕工事の必要性

経年による劣化

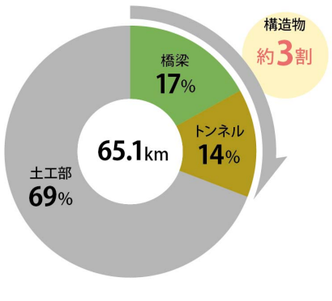
・播但道（全線65.1km）は、開通から30年以上経過する区間が6割に達し、経年劣化が進行しています。

・また、全線の約３割の区間が橋梁やトンネルといった構造物です。特に橋梁については、管理する210橋のうち5割以上が、30年以上経過し老朽化による劣化が顕在化しています。

【道路の経過年数】



【構造物の割合】



劣化の発生要因

❶車両総重量の増加

平成5年の車両制限令等の改正で規制が緩和され、車両の大型化（総重量の増加）により床版等が劣化しています。

❷凍結防止剤の使用

冬季の安全走行のため塩水等を散布し、その塩水が橋の継ぎ目から漏水して、コンクリート内の鉄筋や支承等の腐食が進行しています。

凍結防止剤の散布

劣化状況

伸縮装置の腐食　市川大橋5

支承の腐食　市川大橋5

床版の劣化　市川大橋2

床版の損傷（鉄筋露出）　岡部川大橋3

鋼桁の腐食　落ヶ池橋2

覆工の劣化（ひび割れ）　播但トンネル

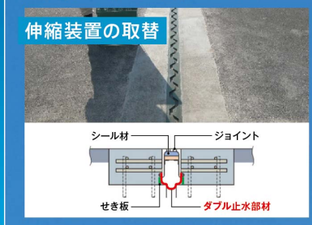
播但連絡道路のこれから

大規模修繕工事の進め方

❶工事の方法

防水対策

コンクリート床版の損傷（漏水、遊離石灰など）の主要因である、水や塩化物の浸透を排除します。



橋面防水工の施工

コンクリート補修

ひび割れ、剥離、断面欠損部の修復や耐久性の高いプレキャスト床版への取替を実施します。

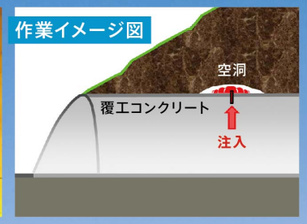
コンクリート床版の取替

剥離、断面欠損部の修復

トンネル補修

覆工コンクリート背面の空洞部分に充填剤を注入することで、覆工にかかる土圧を均一化してトンネルの崩壊を防ぎます。

注入状況



❷将来にわたって安全性を保つために

長寿命化計画（Plan）に基づく修繕（Do）、5年に一度の法定点検（Check）や日常点検により、常に改善・見直し（Action）を行うPDCAサイクルにより、管理レベルを継続的に高めていきます。

橋梁点検車による目視点検

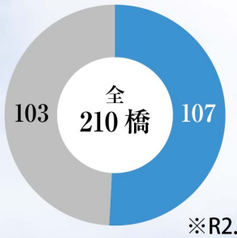
❸工事の優先順位と期間

点検結果を基に、緊急度の高いものから優先的に修繕工事を実施します。

全210橋のうち107橋の補修工事

全15トンネルのうち10トンネルの補修工事

⇒令和10年度完了を目途に工事を進めます。



※R2.4時点